

平成22年度一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

1項 土木管理費

景観まちづくり課 (内線：7387)

4目 建築指導費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっどりの鰻絵・なまこ壁の魅力を伝える事業	14,340	4,443	9,897				14,340	
トータルコスト	15,954千円 (前年度 8,586千円) [正職員：0.2人]							
主な業務内容	調査、企画調整、イベント実施、周知							
工程表の政策目標(指標)	地域資源を活用したまちづくり実施地区数の増(100地区)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

民間主体の「鰻絵・なまこ壁推進協議会(仮称)」を設置し、県内にたくさんある鰻絵・なまこ壁をとおして、鳥取県の地域資産や左官文化を全国に情報発信し、鰻絵なまこ壁文化の拠点づくりを目指すとともに、

- ・左官業界の活性化、若手後継者の育成
  - ・農村風景と生活遺産の保存活用、グリーンツーリズムの展開
  - ・大山山麓の文化的景観形成
  - ・着地型観光の展開
- につなげていく。

(協議会の構成案)

- ・民間：鰻絵なまこ壁の専門家、建築、左官業、デザイン、民芸、観光等の団体
- ・研究機関：大学等
- ・行政：県、市町村

2 主な事業内容

(1) 「鰻絵・なまこ壁サミット in とっとり 2010」の開催

■メインイベント

①テーマ1『日本の美・左官文化・鰻絵なまこ壁の魅力を探る』

- 1) 基調講演(建築、左官、日本文化に関わる著名人による講演)
- 2) 全国の先進地及びルーツに当たる海外からの地域報告
- 3) 鳥取の鰻絵なまこ壁の調査結果報告、パネルディスカッション、交流会

②テーマ2『とっとり蔵リズムを楽しもう!』

- 1) 著名人による講演
- 2) バスツアー(候補：若桜町蔵通り、鳥取市鹿野のまちなみ、倉吉市白壁土蔵群、琴浦町光のまちなみ、米子市旧加茂川沿い土蔵群)

■サブイベント

- ①参加先進地からの情報発信(鰻絵作品展示、鰻絵なまこ壁の写真パネル展示など)
- ②左官の手技と体験(なまこ壁などの壁塗り実演、鰻絵づくりの体験教室、県内映像紹介)

(2) 県内の鰻絵なまこ壁の調査継続と全国への情報発信

(3) 鰻絵なまこ壁の文化拠点づくり(鰻絵なまこ壁学会(仮称)の設立準備等)

3 これまでの取組状況、改善点

平成21年度は、鰻絵なまこ壁の調査発掘、フォーラム開催などを行い、主に県民に向けて地域資源としての鰻絵なまこ壁を情報発信した。

- ・県内の鰻絵・なまこ壁の発掘 約300ヶ所
- ・平成21年11月8日にフォーラム「鳥取の鰻絵・なまこ壁」を開催
- ・地元新聞で「とっとり鰻絵なまこ壁紀行」を連載

平成22年度は、県内の鰻絵なまこ壁の調査を継続し、全国サミットを通して全国、海外へ情報発信するとともに、鰻絵なまこ壁文化の拠点づくりを目指す。